

総合的な学習の時間のカリキュラムマネジメントの ワークショップ型研修ガイド



平成 23 年 3 月

ワークショップ型研修ガイド開発プロジェクト

(代表: 村川雅弘)

◆ 関連資料のホームページアドレス

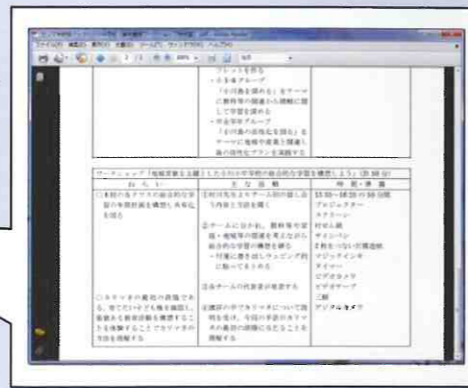
本ガイドブック並びに掲載事例及び追加事例に関する資料(研修案やワークシート、アンケート結果など)は以下のホームページで見ることができます。

鳴門教育大学・村川研究室(Murakawa-lab) <http://www.sougou.net/>



各事例についてもっと詳しく知りたいときは、村川研究室(Murakawa-lab)にアクセスしてください。

資料が PDF ファイル形式でアップロードされています。そちらをクリックしてください。



◆ 本ガイドブックに関連する参考文献一覧

- 川喜田二郎著『発想法 創造性開発のために』中公新書、1966 年
- 村川雅弘編著『ワークショップ型研修のすすめ』ぎょうせい、2005 年
- 村川雅弘編著『ワークショップ型研修の手引き』ジャストシステム、2006 年
- 村川雅弘編著『「ワークショップ型校内研修」で学校が変わる 学校を変える』教育開発研究所、2010 年
- 中留武昭・田村知子著『カリキュラムマネジメントが学校を変える』学事出版、2004 年
- 田村知子・中留武昭著「カリキュラムマネジメントを深め、広げるストラテジー」『教職研修』(教育開発研究所) 連載、2010 年 6 月～現在

本ガイドブックは、パナソニック教育財団の平成 22 年度の先導的実践研究助成「総合的な学習のカリキュラムマネジメントのためのワークショップ型研修パックの開発」(研究代表者: 村川雅弘)によって作成されたものです。

研究及び作成にあたり、以下の学校・教員・研究者がかかりました。

研究協力校: 高知県香南市立吉川小学校、佐賀県唐津市立小川小中学校、兵庫県たつの市立小宅小学校、広島県福山市立坪生小学校、金沢大学附属高等学校

研究協力者及び作成協力者: 田村知子(中村学園大学)、筒井泰登(唐津市立小川中学校)、森本英己(鳴門市立桑島小学校)、國澤和美(香南市立吉川小学校)、石堂裕(たつの市立小宅小学校)、山本吉次(金沢大学附属高等学校)、村川雅弘(鳴門教育大学)

地域の人材・素材を生かした年間指導計画づくり

総合的な学習では地域のひと・こと・ものを活かした内容や活動を設定することが大切です。地域の人材や素材を調査し、それを整理しておくことが重要です。「イ. カリキュラムのCA」と「カ. 家庭・地域との関連等」に該当します。

指導計画見直しワークショップ

多様なネットワークを活用して様々な視点から地域素材を調査します。

素材発掘フィールドワーク



教職員が放課後等に手分けして、地域のひと・こと・ものを取材する。

地域情報の整理



収集した情報を写真や文章で「お宝(地域人材・素材)シート」にまとめる。

情報の所在地の明示



「お宝」の所在地を校区の地図上に明示する。

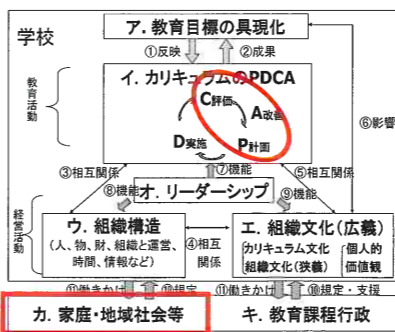
年間指導計画の見直し



「お宝」を参考にして、地域との関連を中心に年間指導計画の見直しを図る。

高知県香南市立吉川小学校

地域のひと・こと・ものを活かした内容や活動を具体的に想定しましょう。



改善のポイントの構造化



拡大した年間指導計画に付箋を貼ったり、改善のポイントを直接書き込む。

他学年チームへの解説



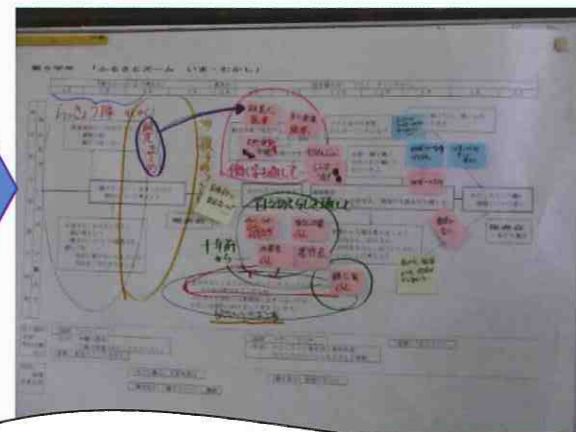
作業途中に他学年チームの解説を聞きに行き、それを参考に学年間のつながりを考えた計画を作る。

成果の共有化



各学年の成果物の発表を行い、アイデアを付加すると共に共有化を図る。

成果物



会議室等に成果物を掲示しておき、次年度の年間指導計画づくりに生かす。

このワークショップでは、今年度の実践を元に、地域のひと・こと・ものとの関連の視点から見直しを図るものです。新年度に、成果物を踏まえて具体的な年間指導計画を作ることが大切です。